

途上

信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

文責：教頭



先日は、途中雨が降る中ではありましたが、今年の校庭大運動会を無事行うことができました。校庭の整備作業や日々の児童の体調管理など保護者のみな様のお力添えのおかげであります。今回は、10月3日（金）に行いました前期終業式での校長講話の様子をご紹介します。

前期を振り返る（10月3日 前期終業式 校長講話）

みなさん、おはようございます。

只今は、前期の生活を振り返って、1年生、3年生、5年生から発表がありました。ありがとう。

1年生のみなさんは、朝顔ランド、クッキーづくり。謎の実は、かぼちゃだったんだね。それをもとに今日は4年生のお兄さんお姉さんとお月見会がありますね。発表も堂々とできたし、歌もオリジナルで素敵な歌で嬉しいなと思いました。

3年生のみなさんのお話は、1組は小屋のお話、2組はモナちゃんのお話やお友達のお話がありました。校長先生は、教室にお邪魔させてもらったときに、授業の楽しさの中に、ある意味での緊張感もありました。1組はブタさんを飼おうと思っていたけれど、困ったことが起きたよね。2組のみなさんはモナちゃんのお友達の名前をどうしようか、いろんな意見を聞きながら、本気になって考えていました。その姿に校長先生は心を打たれたし、感動しました。とてもよい学びをしていますね。

5年生のみなさんの発表からは一言で言うと、高学年としての自覚が芽生えてきたなと感じて、すごく嬉しく思います。1組さんは、村づくりを通して「仲間」「協力」ということを考えてくれているのかな。2組のみなさんについては、こんなことを聞きました。美と力の授業のときに、担任の先生が最初、時間に間に合わなかった。そんなときに、みんなで話し合ったのか、みんなでまとまって、集合場所に行くことができた。当たり前のようにだけれど、なんともないことかもしれないけれど、それって素晴らしいことです。自分たちで考えてくれたことが、とても素晴らしいと思いました。どうもありがとう。

さてみなさん、突然ですが、この数字は何でしょうか（スライドで「104」と示す）。

（子ども：学校の年！ 校長：学校の年はね138歳）
ヒントはこれです。204の中で今104です（右図）。
これは、みなさんが前期学校に通った日数です。正確に言いますと、5、6年生は1日お休みがあったので103日となります。204日は今年度学校に通う日です。こうやって見ると、登校日数の半分以上が終わったのですね。

今日は、学年やクラスでの振り返りがあるかもしれませんが、ここでは3つのことを一人一人振り返ってもらいたいと思います。それは、校長先生が校長講話で話してきた3つのことです。

一つ目は、聴くということです。昨年より、学校では友達や先生、お家では家族の話を聴くことができるようになったのでしょうか？少し時間をあげますので、目を瞑って、自分の心の中で振り返ってみてください。

二つ目は「協力」です。今まで以上にクラス、学年、学校全体で協力することができたでしょうか。自分の心の中で振り返ってみましょう。

三つ目は「そうじ」です。これは夏休み明けから力を入れ始めましたね。「一人になるそうじ」「10分間になるそうじ」ってなんだろう。意味を一人一人がつくってほしいとお話をしました。さあ、振り返ってみましょう。

心の中で振り返ってくれてありがとう。「聴く」「協力」「そうじ」の三つは、全校のみなさんで力をいれてきたことでした。それはあなたにとって、

「変わるモノ」でしたか？

「変わらないモノ」でしたか？

「変えたくないモノ」でしたか？

この104日間、または103日間でみなさんは確実に心身共に、心も体も大きく成長しました。

後期の学校生活においても「聴く」こと、「協力」すること、「一人になるそうじ」「10分間になるそうじ」も続けていきながら、もっともつと心と体を伸ばしていきましょうね。

では、土日をはさんで、来週10月6日から始まる後期には、どんなことが行われるのか、みなさんと見通しをもちたいと思うので主な活動を紹介しますね。

まずは、今みなさんが練習に打ち込んでいる校庭大運動会です。来週11日（土）にあります。運動会テーマ「みんながひとつになる運動会」になるように、来週あと残り5日間の練習を大切にしていきましょう。

運動会の後は、各クラスの中核活動が熱心に行われていくと思いますが、年が明けて1月にはスケート、スキー教室が行われます。スケート教室は2年生、スキー教室は3年生から6年生が行きますよ。1年生は、雪遊び、そり遊びとなります。

2月には音楽会が行われます。今日の1年生のみなさんの発表のように学級でのくらしを歌にして発表するクラスもあります。高学年のみなさんのダイナミックな合唱や演奏も楽しみです。

令和7年度の最後の月、3月には、5年生が中心になって企画、運営をする6年生に感謝する会が行われます。いよいよ5年生の出番です。今日も聴く姿勢がいいですよ。期待していますよ。

そして3月は学校の一番大切な行事卒業式があります。6年生が、この学び舎を巣立っていきます。6年生のみなさんは、1年生から5年生、私たちに残りの100日で何を残していきますか。ぜひ138回目の卒業生として、みなさんの足跡を残して行ってほしいと思います。期待しています。

みなさんと後期の見通しを確認しましたが、後期も校長先生の3つの願いを心の片隅に入れてがんばってくれると嬉しいです。失敗してもいい。大谷選手だって10回で3回も打てない。でもすごい選手ですよ。失敗から学ぶことがたくさんあります。前期は、みんな仲良く生活してくれましたね。後期も続けてください。怪我や事故の全くない学校なんてありませんけれども、みなさんよく気を付けてくれました。

これからも主役は君たちです。「共に在る」とはどんな姿なのか、みなさんと先生たちで追い求めていましょうね。今日も静かに聴いてくれてどうもありがとう。

以上で、前期終業式の話をついに終わりにします。

（10月3日 前期終業式 校長講話より）

令和7年度 校庭大運動会 みんなが一つになる

10月11日（土）に、校庭大運動会が行われました。肌寒い空模様ではありましたが、子どもたちは、全力で走り、踊り、仲間と協力して精一杯の演技を披露してくれました。

この日に至るまでの仲間との協力や努力の積み重ねの中に、本当の学校行事の意味がありました。また、保護者のみな様には校庭の整備作業や当日の片付け作業へのご協力など、お支えいただきました。保護者のみな様、地域のみな様に感謝申し上げます。

